

教育委員会だより

第15号(平成28年7月～平成28年10月)

発行者

池田町・養基組合教育委員会

池田町六之井1468-1

☎ 0585-45-3111 Fax 0585-45-7116

E-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

全国学力・学習状況調査から

〈小中学校の特徴と課題〉

4月19日に実施された全国学力・学習状況調査(小6、中3対象)の結果が届いています。各学校では、国語、算数(数学)の学力面と生活・意識面の調査の結果を分析・考察しています。児童生徒には個票を渡し、保護者の方へは文書や学校だより等でお伝えしています。

1 学力調査から

小学校では、国語Aが比較的よくできており、国語B、算数Bが苦手な結果でした。基礎的な力が身に付いてきている反面、活用力がやや苦手であることが分かります。全体としては、着実な学力の向上が見られます。各校が、基礎学力の定着と共に活用力の向上に継続的に取り組んでいることの表れであると考えます。中学校では、国語に比べて数学がよい結果であるといえます。中でも数学Aがよく、国語Bが苦手です。

正答率の人数分布では小中学校共通して二つから三つの山に分かれています。分からないことの多い児童生徒に目を向けて、丁寧な授業展開や家庭学習の指導が重要であると考えます。

2 学習状況調査から

小中学生とも、友達を大切にすることを意識、

地域行事に積極的に参加する姿勢に、よいものが見られます。諸活動の取り組みを一層充実させたいものです。

テレビ・DVD・ゲーム等に時間を費やす児童生徒はやはり多く、携帯・スマホ・インターネットの時間も増加傾向です。学校とPTA・家庭が歩調をそろえて、子どもの生活改善に努めることが大切だと考えます。

町教育センター所長 坪井一弘

多忙化防止のために毎週水曜日午後7時以降学校施設

今、教育現場では教員の多忙化を防ぐことが喫緊の課題になっています。これは他県のことですが、残業時間160時間、土日勤務の若い先生が心身ともに疲れはててしまわれたという事案が起きました。

町内各学校でも会議の効率化や業務の見直しを図る努力をしていますが、勤務時間が大幅に超えてしまうまで頑張る先生がたくさんみえます。このことが知らぬ間に先生方の心身に負担をかけてしまっています。

先生方が心身ともに健康で、子どもたちと向き合う時間を多くもっていただくために、池田町ではノー残業デーを週1日設けることにいたしました。町民の皆さまには誠に申し訳ありませんが、11

月より毎週水曜日、午後7時以降は学校を施設いたします。なにとぞご理解とご協力をお願い申し上げます。詳しくは各学校ごとの通信をご覧ください。

教育長 国枝磨須美

ふるさと祭り

国見町の子どもたちとの交流

今年のふるさと祭りには、福島県国見町の小学生5名が池田町を訪問しました。彼らは国見ジュニア応援団のメンバーです。東日本大震災の後、池田町と国見町は防災相互協定を結びました。国見町の子どもたちは、ふるさとの元気を発信するために池田町を訪問してくれました。



ステージで国見町の紹介をする子どもたち

国見町は桃の生産額が日本一ですが、地震のあと風評被害で大きな打撃を受けました。その中でふるさとを誇りに思い、愛するふるさとのために遠い福島からやってきた小学生たちは、桃の販売や国見町の紹介をしてくれました。



ボランティア活動をする子どもたち

一方、そのお手伝いをしたり、一緒に交流したりしてくれたのが、温知小の子どもたちや池田町のボランティアリーダーズの子どもたちです。ちゃちゃまるの補助をしたり、会場のゴミを集めて仕分けをしたりと、暑い中で汗を流して頑張ってくれました。池田町の子どもたちも本当によくやってくれました。

そこには子どもたちのけなげな姿がありました。お世話になった皆さまに感謝申し上げます。

ふるさとを大切に思う子どもたちがいることが嬉しい、ふるさと祭りでした。

教育長 国枝磨須美

池田中生 45人韓国文化を学ぶ

10月上旬外務省の派遣事業で韓国を訪れ、韓国文化を学んだり、ソウル市内の中学生との交流を行ったりしました。

この訪韓は、日韓文化基金、韓国教育部国立国際教育院が共同で実施する対日交流理解促進事業に応募し、実現しました。

韓国では熱烈な歓迎を受け、充実した研修を行うことができました。この研修を通して韓国の素晴らしさや魅力を発見することができ、バ



熱烈な歓迎を受ける池田中生



チマチョゴリに身を包んだ池田の女生徒

ディの生徒とともに充実した交流をすることができました。今後は、この貴重な体験を中学校生活に生かし、池田中のリーダーとしての活躍を期待しています。

池田中研究発表会

工夫された課題設定

10月11日(火)、町教育委員会指定の研究発表会が行われました。「自ら学ぶ力を身に付ける教科指導の在り方」の研究テーマのもとに、学ぶ意欲を生み出す課題設定に焦点を当てるもので、全学級の授業公開でした。

どの学年でも、子どもたちは授業に集中し、挙手発言が多く見られました。研究の視点である課題設定に工夫がされ、生徒の前向きな学習

姿勢につながっていました。生徒が発言したり活動したりする機会が多く、学年が進むにつれて表現する力に確かなものが感じられました。こうした授業が積み重ねられていくことで、活用力の向上にもつながっていくと考えます。そして、授業で活躍しにくい生徒への配慮も含めて、充実した指導が、日常的に継続されるよう願っています。

町教育センター所長 坪井一弘



家庭科で弁当の献立について意見交流する2年生

伝統を受け継ぐ宮地っ子

明和義民感謝祭での児童の演劇

明和義民（江戸時代明和3年の「盛枩騒動」で犠牲になった先人）に対する感謝祭が、今年も10月1日に大津谷公園で行われました。

宮地小は、8年前に別の行事でこの明和義民を題材とした劇を披露し大変好評であったことから、明和義民感謝祭への参加を依頼され、それ以来毎年この感謝祭で4年生が演劇を披露しています。今年は、「学校の階段からモンスター島へゴーゴー」という劇を見せてくれま



明和義民感謝祭でテンポよく演技する4年生

した。地域を題材としたものではなかったものの、一人一人が長い台詞を実にテンポよく身振り手振りを交えて演技し、素晴らしいものがありました。参加した児童からは「緊張したけど頑張って練習してきたお陰で本番は上手くできました。やればできると思いました」という感想も聞けました。

校区の教育委員として、宮地小は地域と共にある小規模校という感を改めて強くしました。休日にもかかわらず世話をしていただけだ先生方へのお礼とともに、子どもたちが今後このような行事に参加し、感情豊かな思いやりのある人に育ってくれることを期待しています。

教育委員 河村安泰

八幡小道徳研究協議会迫る

本年度、八幡小は、県教育委員会より「道徳教育パワーアップ実践校」としての指定を受けています。毎年、県内の小学校・中学校・高等学校各1校が指定を受け、先進的な道徳の時間の実践や地域ぐるみの道徳教育の推進に取り組むという内容です。11月9日の午後、八幡小で道徳教育パワーアップ研究協議会が開催され、岐阜・西濃・可茂管内から約300人の学校関係者が来校されます。当日、八幡小は、特に次の2点から研究成果を発表します。

- ・道徳科に向けた道徳の授業の工夫・改善
- ・八幡ふれあい教育の実践

道徳科とは、毎週1時間の「道徳の時間」を「特別の教科」と位置付け、国語や算数・数学

外国語等と同様の教科とするものです。小学校では平成30年度から、中学校では31年度から「特別の教科」（道徳科）となります。

八幡ふれあい教育は、学校・家庭・地域の連携を図り、地域ぐるみで心豊かな子どもを育てることを目的として組織化され、今年で26年目、八幡地域の特色ある活動です。

八幡小の先生方は道徳科に向けた授業の工夫・改善に、極めて熱心に取り組みられています。八幡ふれあい教育推進会議の方も長年の活動内容をまとめ、発表の準備を進めてみます。研究協議会の盛会と成功を祈念しています。

教育委員 中村昌秀

教育委員就任にあたり

青少年育成に関わらせていただいた10年という節目に、このような大役をいただきました。また青少年育成とは違った目線で活動できることをうれしく思います。

子どもたちには環境が大きく関わっています。やらせるのではなく、興味をもたせ自分からやろうという気をもたせることが大事だと思います。時代に合った雰囲気づくりを考えていきたいと思えます。また、諸先輩方よりご指導いただき頑張りたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

教育委員 西川 昭



教育委員に就任されたお二方
左から、岡崎町長、中村委員(留任)、西川委員、坪井委員

この度教育委員を拝命し、その重責を考えますと身の引き締まる思いです。

私は、東濃をスタートに揖斐郡を含め5校の教員を務めさせていただき、温知小を最後に教育行政の道へ進み最後は民間企業に入りました。企業の業務は徹底して「お客様のために」です。私は企業の仕事を通して教育のすべては「子どものために」という原点を改めて思い知らされました。子ども一人一人との丁寧な関わり合いを大切にする教育の現場に、少しでも手助けできればと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

教育委員 渡辺春夫

お知らせ

11月 5日(土)「池田っ子まつり」
町内各小年団体連絡協議会主催
総合体育館
11月15日(火)「新国立劇場合唱
団合唱公演」13:45~池田中学校
体育館
皆様、ぜひご参観をお願いします。

編集後記

「教育委員会だより」第15号を発行することができました。
編集担当(教育委員 小川直美氏
退任)の交代により、今回の発行が
1ヶ月遅れになってしまったことを
町民の皆様にお詫び申し上げます。
今後7年3回の発行を通して「教育
委員会」の行事や活動内容を広く
住民の皆様にお伝えできるよう努
めてまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。
編集担当 中村 昌秀、河村 安泰

教育委員会の主な活動報告 平成28年7月~平成28年10月

日付	活 動	備 考
7月 4日	池田町・養基組合合同教育委員会	中央公民館 第3会議室
7月14日	池田中学校地区懇談会	池田中学校 体育館
8月2~5日	夏休み寺子屋学習	中央公民館 各部屋
8月 6日	福祉・英語事例発表会	中央公民館 大ホール
9月 8日	池田町・養基組合合同教育委員会	中央公民館 第3会議室
9月17日	池田中学校体育祭	池田中学校 グランド
9月24日	町内各小学校運動会	各学校 グランド
10月11日	教育委員会指定 研究発表会	池田中学校
10月20日	学校訪問	池田小学校
10月21日	学校訪問	八幡小学校
10月28日	池田町・養基組合合同教育委員会	中央公民館 第3会議室